

海 陽 風



平成29年8月30日

夏休み中もがんばった子どもたち！

子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。31日間の長い夏休みは、子どもたちにとって楽しく思い出に残ることが多かったようです。

今年の夏は、前半は30度を連日超えるような日が続いたのですが、後半は20度前後の比較的涼しい日が多かったように感じます。そのような状況の中、子どもたちは夏休み中にも様々な活動に取り組んでいました。

まず、5、6年生の市内陸上競技会選手候補生が7月31日から8日間、陸上の練習に汗を流しました。朝、8時から練習を開始しましたが、約1時間ほど一生懸命に練習に打ち込む子どもたちの姿は、大変立派でした。9月8日（金）には東運動公園で陸上競技会が行われる予定になっています。

練習した成果を大いに発揮してほしいと思います。



【陸上の練習をする5・6年生】

7月28日（金）は、6年生が江陽中学校へ出向き、部活動見学に行ってきました。これは小・中学校ジョイントスクール推進事業の一つとして行われたもので、中学校の様子を知ることや中学校進学に対する不安を解消したり、将来に対して夢や希望をもたせたりしていくために行われました。子どもたちは中学生が練習している姿を真剣な表情で見たり、実際に練習を体験させてもらったりしていました。



【読み聞かせをする児童】

7月29日（土）は、江陽児童館前の公園で恒例の「おとぎの広場」が行われました。早朝6時からの実施でしたが、お話をする人やお話を聞く人、総勢約90名が集まり、なごやかな雰囲気が始まりました。6年生の代表児童4名の皆さんは、ちょっと緊張しながらも堂々とした態度で2つのお話の読み聞かせをしてくれました。たくさんの拍手をもらったときの、ほっとした表情が印象的でした。

また、6年生の稲塚葵君が本校児童の代表として、「南部藩ゆかりの都市との交流事業」に参加しました。2泊3日で遠野市を訪問したり、遠野市の文化に触れる体験をしたりしました。また、「いじめの問題等に関する対話集会」には、6年生の城内朋花さんと5年生の立元ともえさんが出席し、学校からいじめをなくすための取組の様子や他校の状況について意見交換をしてきました。

学校のプールはあまり天候に恵まれなかったものの、元気な子どもたちで、大賑わいでした。解放日数8日、延べ利用児童数は803名でした。お忙しい中、監視にあたってくださった保護者の皆様のおかげをもちまして、子どもたちが水の事故に遭うこともなく、安全なプール運営ができました。ありがとうございました。



【プールで泳ぐ子どもたち】

このほかにも、夏休み中に子どもたちが様々な場所で頑張っている様子が、戻ってきた通信票の家庭欄からわかりました。計算カードで引き算の復習をした1年生、ラジオ体操や三社大祭へ休まずに参加した2年生、早寝・早起きや自分で決めたお手伝いを頑張った3年生、自由研究で保護者と一緒に江陽地区を歩いて様々な発見をした4年生、料理や洗濯を進んで行った5年生、選択課題の制作を根気強く行った6年生などのコメントがありました。充実した休みを過ごした子どもたちが多く、2学期にはまた活躍できるのではと期待しています。これからも、まだまだ暑い日が続きます。児童の体調に配慮しながら学習や様々な活動を行って参りたいと考えておりますので、これからも本校の教育活動にご協力をお願いします。